

第 437 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2020 年 7 月 13 日（月） 13 時 00 分～14 時 30 分

II. 場 所 電話会議

III. 議 題

（審議事項）

- (1) IASB ディスカッション・ペーパー「企業結合 — 開示、のれん及び減損」へのコメントの検討
- (2) 取締役等の報酬等として金銭の払込み等を要しないで株式の発行等をする場合における会計処理の検討
- (3) リースに関する会計基準の開発
- (4) 専門委員の選退任

（報告事項）

- (1) 収益認識会計基準等の訂正

本企業会計基準委員会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、「企業会計基準及び修正国際基準の開発に係る適正手続に関する規則」第 7 条第 1 項に基づき、一般の傍聴を認めないものとして非公開で開催した。また、同規則第 13 条に基づき、電話会議で実施した。

なお、議事の録音は、財務会計基準機構のウェブサイトで一定期間確認可能である。

IV. 議事概要

（審議事項）

- (1) IASB ディスカッション・ペーパー「企業結合 — 開示、のれん及び減損」へのコメントの検討

川西副委員長、板橋ディレクターより、IASB ディスカッション・ペーパー「企業結合 — 開示、のれん及び減損」（以下「DP」という。）のうち、取得に関する開示の改善（第 2 章）の「取得のその後の業績の開示」の提案に関し、当該提案に関連して行った「財務情報」や「非財務情報」等の概念の整理と DP へのコメントレター作成に向けたアプローチについて説明がなされ、第 98 回 ASAF 対応専門委員会（2020 年 7 月 6 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (2) 取締役等の報酬等として金銭の払込み等を要しないで株式の発行等をする場合における会計処理の検討

矢農常勤委員及び宗延専門研究員より、これまでの審議で聞かれた意見から識別された追加的な論点として、報酬費用の測定に用いる公正な評価単価の算定時点、及び実務対応報告公開草案の本文の文案イメージについて説明がなされ、審議が行われた。

- (3) リースに関する会計基準の開発

小賀坂委員長及び丸岡アシスタント・ディレクターより、ファイナンス・リース取引の貸手の会計処理及びリース業における割賦販売取引の会計処理について説明がなされ、第 93 回リース会計専門委員会（2020 年 6 月 29 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (4) 専門委員の選退任

小賀坂委員長より、保険契約専門委員会、IFRS 適用課題対応専門委員会の専門委員の選退任案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、委嘱等の手続

を行うこととされた。

(報告事項)

(1) 収益認識会計基準等の訂正

以 上